

(様式1)

令和4年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 018	提案機関名 開成町
要望問題名	水稲畦畔、農道、水路の雑草抑制及び管理省力化のためのカバークロープの草種選定、植栽及び農道脇水路脇に植栽されたあじさいとの景観両立
要望問題の内容	【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 現在、開成町北部にある水田地帯において、水稲畦畔、農道、水路にいろいろな雑草が発生するため、農道等の維持のため農家等が年間延べ5～6回の草刈りを行っている。特に開成町あじさいの里として、農道、水路脇にあじさいが植栽されている地帯では、あじさいの景観を維持しつつ草刈りを行っているところである。さらに、最近は、出穂時にカメムシ等の被害が発生し、品質低下の原因の一つとなっている。 そこで、畦畔等の管理作業省力化、安全性向上と害虫忌避効果を目的に ①刈り取り回数の軽減又は刈り取り不要な草種 ②草丈の低い草種 ③景観があじさい、及びあじさいの維持管理と両立できる草種の選定、植栽について、試験研究を要望します。
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部野菜作物研究課
対応区分	① 実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	水稲畦畔、農道、水路の雑草抑制及び管理省力化のためのカバークロープにつきましては、基盤整備事業後の水田畦畔のための技術の導入が進められています。県内におきましても、水田基盤整備が終わった地域において実施事例があります。「センチピートグラス」や「ヒメイワダレソウ」については、農業技術センターほ場内で栽培確認を行い、導入に向けた育苗方法等を情報提供しながら、今後の現地指導に協力します。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			